

花便りプロジェクト

『花便り』は、学習者がメール文を書く練習をするためのコンテンツです。

メールタスクを読んで、そのタスクにあったメール文を書いて、送信すると、学習者が書いたメール文のどこに問題があるかを示して、アドバイスを行います。

使い方

1. サイト URL 「花便り」 <http://hanadayori.overworks.jp/>

2. タスクを選ぶ

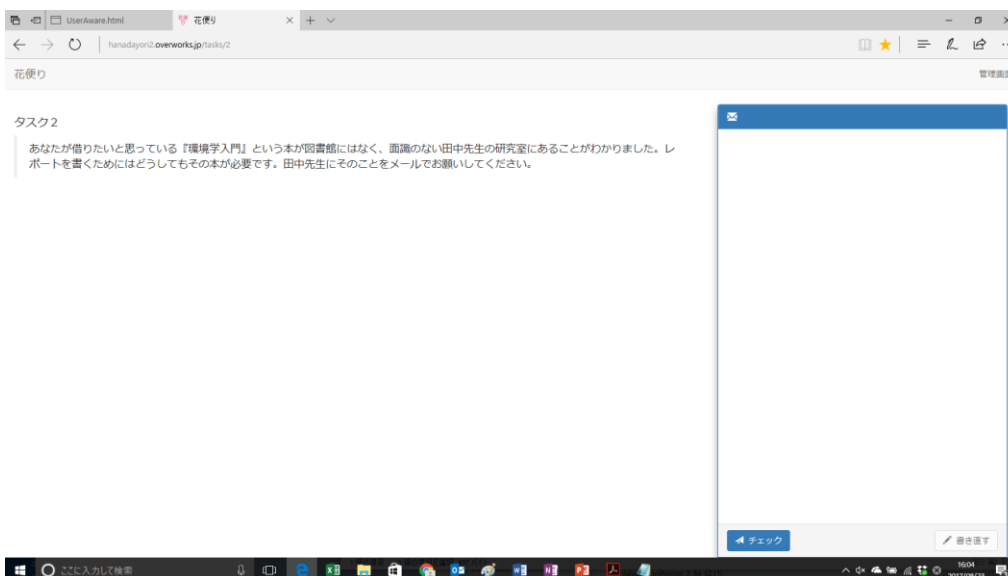
タスクを選ぶ

| | | |
|--|--|---|
| タスク1 花見の持参品の友人への連絡 <input type="button" value="取り組む"/> | タスク2 本の貸し出しについての先生への依頼 <input type="button" value="取り組む"/> | タスク3 来日についての事務スタッフへの問い合わせ <input type="button" value="取り組む"/> |
| Task 1 E (English version) Contacting friends about what to bring to hanami <input type="button" value="取り組む"/> | Task 2 E (English version) Making a request to a teacher about borrowing a book <input type="button" value="取り組む"/> | Task 3 E (English version) Enquiry to office staff about coming to Japan <input type="button" value="取り組む"/> |

それぞれのタスクは、上段は、日本語で、下段は英語で書かれています。最終的なアドバイスは全て日本語で書かれます。

3. 書き込みボックス

タスク2を選ぶと、メールを書き込むボックスが画面の右側に提示されます。



右側のボックスにタスク内容に応じて、メール文を書き込んでください。書き終えたらチェックをクリックしてください。

4. コメント表示

たとえば、以下のようなメール文を書いたとします。

田中先生へ

留学生の〇〇。いま環境学のことについてレポートを書いているので、『環境学入門』と言う書物も使いたいと思います。

図書館の受付に聞けば、本は図書館ではなく、田中先生の義務室にあると教えられました。その本はレポートのため必要なので、田中先生は借りらせていただけませんか。

もちろん、レポートを書いた後ですぐ返します。できれば、借りらせてくれたら感謝します。よろしくお願いたします。

それでは、本日のところは取り急ぎお願いだけで失礼いたします。

〇〇

このメールを書いたあとで、チェックボタンをクリックします。

すると、次のように結果が表示されます。

| コメント | | |
|-------------------------------------|-----------------|--|
| タスク2の結果は次の通りです。 | | |
| ☆☆文体の統一がきちんとしてきています。 | | |
| ★★表現の間違いが少しあります。見直しましょう。 | | |
| ★★よく書けていますが、書き忘れていることやもっといい表現があります。 | | |
| どうぞこれからもがんばってください。 | | |
| 直したほうが良い表現 | | |
| <input type="checkbox"/> | 誤使用 先生へ | 面識のない相手に「～へ」は使いません。「〇〇先生」だけでよいです。 |
| <input type="checkbox"/> | 誤使用 義務室 | 事務室（じむしつ） |
| <input type="checkbox"/> | 敬語の誤り 借りらせてくれたら | 貸していただけたら |
| <input type="checkbox"/> | 読み手配慮 取り急ぎ | この表現は、短いメールで急いで書いたときに使います。大切なお願いなので使わない方がいいです。 |
| 使ったほうが良い表現 | | |
| <input type="checkbox"/> | 必要語彙,挨拶 | 初めてメールするので、「突然のメール、失礼いたします」のように始めましょう。 |
| <input type="checkbox"/> | 必要語彙,自分 | 初めてメールするので、「名前と申します」のように名乗りましょう。 |

「コメント」というのは、このタスクの全体的な評価です。よいところと問題があることの評価が出ます。☆はよくできている場合、★は直した方がいい場合に表示されます。

☆☆、☆★、★★ の3段階になっています。

「直したほうが良い表現」というのは、文法、語彙、表現などの誤りです。

また、文法や表現があっても、相手に対して失礼だと思われるような表現には、アドバイスが表示されます。

□のチェックボックスに☑を入れると、自分で書いたメール文の該当箇所が赤くなります。

「使ったほうが良い表現」というのは、必要な情報が盛り込まれていない場合や、日本語母語話者がよく使う表現を提示しています。